

2025年度事業報告書

2025年4月1日～2026年3月31日まで

特定非営利活動法人アニマルライツセンター

1 事業の成果 及び 事業の実施に関する事項

事業の成果

- ・ 生協等に影響力のある丹沢農場が妊娠ストールフリーに向けた第1歩目の数値目標と、エンリッチメントや輸送などのアニマルウェルフェア方針を公表
- ・ 200室ほどある都心型ホテル芝パークホテルが平飼いへの切り替え
- ・ 大手スーパーのプライベートブランド商品におけるマヨネーズにて、ケージフリーが進む(ヤオコーが加わり3社が展開)
- ・ ケージフリー羽数調査を実施し1.48%の結論を得る
- ・ 七星食品が妊娠ストールフリーを達成
- ・ コープ自然派が妊娠ストール商品ブランドを追加
- ・ 大手ペットフード企業ヒルズが、日本で売られる多くがAW対応であり欧米同様にケージフリー、2030年にはベターチキンになることを確認
- ・ 国内で入手可能な3つの水産認証すべてがエビの眼柄切除廃止を基準に盛り込んだ
- ・ 老舗菓子メーカーブルボンが2030年までに全液卵の5%をケージフリーに切り替えることを発表、進捗も公表
- ・ カルビー、イオン、ハウス食品グループ本社、あじかん、ハイディ日高が新たにアニマルウェルフェア方針を策定し発表
- ・ 大手食鳥処理施設で放血後のAW用監視員をアニマルライツセンターの要望を通じて配備
- ・ スターゼン、鶏卵のケージフリーを拡大することを公表
- ・ フォアグラの輸入量がさらに削減、13,443羽分の犠牲が減少
- ・ 国の補助金「畜産クラスター」の収益要件が外れた持続性向上タイプが作られ、アニマルウェルフェアが成果指標に加わる
- ・ 鶏の屠殺時のガスによる意識喪失のための設備投資を促すための国の補助金が作られた

事業の実施状況

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	期間	事業場所	従事人数	受益対象者
アニマルライツ・アニマルウェルフェアに関する事業					
動物問題全般に関わる事業					
行政に対する取り組み	・ 畜産動物、実験動物にとって必要な改正内容を入れるため動物愛護法改正のロビー活動を行った ・ 超党派の犬猫の殺処分ゼロを目指す議員連盟の中の動物愛護法改正プロジェクトチームでのアドバイザーとして会議に出席				
啓発	・ 東京都(池袋 吉祥寺 表参道 高田馬場 蒲田 錦糸町 渋谷 目白 新宿 四谷 御茶ノ水)、埼玉県(浦和 所沢 大宮 さいたま副都心 熊谷 新越谷 川口 北朝霞 志木)、岩手県、香川県、兵庫県での街頭アクションを行った ・ 畜産動物、展示動物等について、各種新聞、テレビ、雑誌等に寄稿、取材への対応を行った ・ 公式サイト、メールニュース(2165名が参加)、SNS(Facebook Twitter Instagram、youtube、TikTok)の更新、情報発信を行った ・ ARCニュース(会報)を年3回発行した ・ アニマルライツに関するチラシ、毛皮反対に関するチラシ、フォアグラ反対に関するチラシ、畜産動物の現状に関するチラシ、環境と健康と畜産問題に関するチラシ、牛乳の現状に関するチラシ、採卵鶏のケージフリーに関するチラシ、動物愛護法改正のチラシ、アニマルライツセンターの紹介チラシの配布を行った ・ ボランティアのプロジェクトチーム「ポスト部」にて毎月全国同時で各ボランティアのいる場所でのポスティングを行った	通期	東京都、岩手、愛知、兵庫、名古屋、埼玉	20人	動物の問題、現状を知らない人約50万人

人材育成に関する取り組み	・ ウェビナーを含んだアニマルライツチャンネルを11回行った	通期	全国	6人	動物問題、持続可能性に関心のある人
持続可能性・消費者倫理に関する取り組み	・ 「消費から持続可能な社会を作る市民ネットワーク」で、企業のエシカル度を調査する企業(コンビニ業界)のエシカル通信簿の調査を行い、またサイトでの見え方の工夫を行った。また当ネットワークが主催してエシカル通信簿の発表会を行った ・ 日本エシカル推進協議会に理事団体および副会長として参加し、環境省への陳情を行い、またエシカルアカデミーを開催した。 ・ 東京エシカルに参画し、イベント出展、交流会への参加を行った	通期	東京	2人	動物問題、エシカル消費、環境問題等に関心のある人
問い合わせ対応	・ 問い合わせに対応(年間およそ200件)	通期	東京	4人	200人
畜産と環境に関する事業					
啓発	・ 講演会での講師を努め、アニマルウェルフェアやアニマルライツについての知識の普及を行った ・ Hope For Animals.orgにて畜産動物の現状や畜産を取り巻く環境や人権問題を発信した ・ メディアに畜産動物の現状について情報提供を行なった ・ SNSでの広告配信を行なった ・ エコプロ、アースデイ、エシカルマルシェなどに参加し環境と畜産についての啓発を行った ・ 畜産動物の現状を伝える専用サイトとSNSでの情報発信、動画の編集 ・ 音楽部でアニマルライツ音楽配信を開始 ・ 参画しているAquatic Animal Alliance(水生動物連盟)で、水棲動物の福祉についての意見提言 ・ 工場畜産から救出した豚と鶏の動物の未来サンクチュアリ(アニマルライツヴィレッジ)の運営、新たに鶏の保護 ・ 対面での勉強会と会議を行う「動物の未来BASE」を開催 ・ 子どもプロジェクトチームにて、子供向けYoutube動画配信とチラシ配布 ・ 2か月に1回のボランティア会議を開催 ・ 消費者団体等へのアニマルウェルフェアについてのレクチャーを行った ・ 新聞部で農業高校、中学校、高校、大学に動物の未来新聞を配布した	通年	東京	5人	動物の問題、現状を知らない人約55万人
行政に向けた取り組み	・ 国会議員に対して、畜産動物のアニマルウェルフェアの取り組みを要望するためのロビー活動を行った ・ 畜産動物と実験動物のための院内集会を開催 ・ アニマルウェルフェア補助金獲得チームにて都道府県や県議会議員への陳情を行った(千葉県、愛知県、神奈川県) ・ ガススタンピング導入のための仕組みについての調査や、国会議員と農林水産省との話し合いなどを行った ・ 茨城県畜産センターでの牛虐待について改善の働きかけを継続 ・ 学習指導要領の改定にアニマルウェルフェアを加えるためのロビー活動を行った	通年	東京	25人	畜産物の購入者、畜産の生産～小売過程に関わる人々とその影響を受ける12千万人
調査	・ 複数の畜産施設及びと畜場に関する調査を行い、情報を公開した ・ 畜産動物の飼育環境についての認知度調査を行い公開した ・ 食鳥処理場で生きたまま熱湯につけられる鶏の状況について調査 ・ アニマルウェルフェアやアニマルライツ、食糧システムの変化に関連する海外の文献、基準等の日本語訳の充実を行うため、ボランティアのプロジェクトチーム「ファクト部」にて、「動物の未来FACT」を運用、多数の論文概要記事を掲載した	通年	東京・大阪	25人	畜産物の購入者、畜産の生産～小売過程に関わる人々とその影響を受ける12千万

	・ 企業のアニマルウェルフェアの公開情報の調査を行い、FARMWISE Impact2026として公開 ・ 卵内雌雄鑑別、ブロイラー、採卵鶏、豚などの技術的な情報の収集を行った ・ ケージフリー卵の流通量を知るため、ケージフリー飼育の鶏の羽数を調査 ・ 屠畜場の係留所に常時飲水可能な設備があるかどうかの調査を行い結果を公表した				人
企業に向けた取り組み	・ 妊娠ストール廃止、ケージ飼育廃止、ベターチキンへの移行、エビの眼柄切除廃止、魚の認証推進を含むアニマルウェルフェアの向上、及びアニマルウェルフェアポリシーの策定、畜産物の削減を求め、企業と話し合いを行った ・ 動物性タンパク質から植物性タンパク質への移行、および植物性タンパク質への取り組みについて企業との交渉を行った ・ 企業にケージフリー卵への切り替えを促す国際連合Open Wing Allianceに参加 ・ ボランティアのプロジェクトチーム「企業への意見届け隊」にて意見届を継続 ・ 20件の企業や店舗からケージフリーコミットメントを得た	通年	東京	6人	畜産物の購入者、畜産の生産～小売過程に関わる人々とその影響を受ける12千万人
衣類等の素材になる動物に関する事業					
・ 毛皮の専用サイトやSNSでの情報発信 ・ 毛皮反対のためのポスターの配布した ・ アパレル企業にリアルファーの取扱廃止を求める要望を行なった ・ ファーフリー、アニマルフリーに関する企業交渉を行った ・ FUR FREE ALLIANCEメンバーとして、Woolrichに対するキャンペーンに参加、また日本の毛皮消費状況等について海外に向けて情報発信を行った	通年	東京	2人	毛皮の問題、ファッションに関心を持つ人約40万人	
実験に利用される動物に関する事業					
・ 動物実験に関するSNS上での発信を行った ・ 化粧品の動物実験廃止を求める署名運動を開始 ・ 超党派のアニマルウェルフェアを考える議員連盟での化粧品の動物実験ワーキングチームの支援	通年	東京	1人	医薬、化粧品などを購入する人々とその製造関係者約とその影響を受ける12千万人	
展示動物に関する事業					
・ ウェブサイトとSNSでの情報発信 ・ イベントや展示における不適切な扱いについて提言、メディアへの情報提供を行った ・ 糸満ハーレーのアヒル取り競争について開催中止を求める情報発信	通期	全国	2人	動物の問題、現状を知らない人	
菜食と健康に関する事業					
・ ヴィーガン、ベジタリアンのライフスタイルについての情報サイトHachidoryの運用を行った。 ・ アニマルフレンドリーなお店・企業レポチームにて、取材や記事執筆、Hachidoryへの掲載を行った ・ ヴィーガンレシピの開発を行った	通期	全国	15人	エシカル消費やヴィーガンに興味のある10万人	
パートナー動物に関する事業					
・ 悪質なエキゾチックペット販売業者についての改善を求める行動を行った	通期	東京	1人	国会議員動物問題	

・ ペット動物に関してSNSでの発信を行った				に関心のある人、動物の現状を知らない約1万人
目的を達成するための広報事業：報告は上記に含みます				

(2)その他の事業

事業名	事業内容	期間	事業場所	従事者人数	受益対象者
物品販売事業	動物問題を啓発することを目的とした本とアピールグッズの販売を行なった	通期	東京	3人	動物問題に関心のある人々

活動計算書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター

2025年 4月 1日 至 2026年 3月 3

【経常収益】	非営利事業	収益事業	合計
【受取会費】			
一般会員（賛助）受取会費	1,704,000		
一般会員（正）受取会費	816,000		
ライト会員受取会費	445,000		
サポート会員（賛助）受取会費	960,000		
サポート会員（正）受取会費	324,000		
学生会員（賛助）受取会費	12,000		
法人会員（賛助）受取会費	72,000		4,333,000
【受取寄付金】			
受取寄付金	28,795,937		28,795,937
受取寄付金・豚	2,419,700		2,419,700
【受取助成金】			
受取助成金	24,488,403		24,488,403
【事業収益】			
事業 収益		234,796	234,796
講師料・原稿料	305,240		305,240
【その他収益】			
受取 利息	202,221		202,221
受取手数料	426,079		426,079
経常収益 計	60,970,580	234,796	61,205,376
【経常費用】			
【事業費】			
（人件費）			
給料 手当(事業)	12,280,920	15,000	12,295,920
役員報酬（事業）	3,625,071		3,625,071
法定福利費(事業)	1,809,178		1,809,178
福利厚生費(事業)	5,280		5,280
人件費計	17,720,449	15,000	17,735,449
（その他経費）			
業務委託費(事業)	830,080		830,080
広告・宣伝費（事業）	235,053		235,053
諸 謝 金(事業)	21,600		21,600
印刷製本費(事業)	1,131,194	74,466	1,205,660
動物医療費保護費	1,850,011		1,850,011
会 議 費(事業)	87,407		87,407
会場費(事業)	166,450		166,450
旅費交通費(事業)	1,736,955	13,052	1,750,007
調査費（事業）	26,400		26,400
通信運搬費(事業)	1,590,876	60,533	1,651,409
新聞図書費（事業）	6,834		6,834
消耗品費(事業)	345,733	79	345,812
備品（事業）	216,201		216,201
修 繕 費(事業)	28,111		28,111
IT関連費(事業)	1,320,364	7,812	1,328,176
水道光熱費(事業)	577,950	440	578,390
地代 家賃(事業)	1,251,068	12,948	1,264,016
保 険 料(事業)	64,970		64,970

活 動 計 算 書

[税込] (単位 : 円)

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター

2025年 4月 1日 至 2026年 3月3

諸 会 費 (事業)	19,690		19,690
租税 公課 (事業)	154,041	29	154,070
支払手数料 (事業)	145,789	10,476	156,265
その他経費計	11,806,777	179,835	11,986,612
事業費 計	29,527,226	194,835	29,722,061
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当 (管理費)	1,059,274		1,059,274
役員 報酬 (管理費)	30,000		30,000
業務委託費 (管理費)	110,000		110,000
人件費計	1,199,274	0	1,199,274
(その他経費)			
印刷製本費 (管理費)	936		936
旅費交通費 (管理費)	28,860		28,860
通信運搬費 (管理費)	19,202		19,202
消耗品 費 (管理費)	15,393		15,393
IT関連費 (管理費)	23,429		23,429
水道光熱費 (管理費)	5,004		5,004
地代 家賃 (管理費)	38,844		38,844
租税 公課 (管理費)	89		89
支払手数料 (管理費)	45,072		45,072
その他経費計	176,829	0	176,829
管理費 計	1,376,103	0	1,376,103
経常費用 計	30,903,329	194,835	31,098,164
当期経常増減額	30,067,251	39,961	30,107,212
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額	30,067,251	39,961	30,107,212
法人税、住民税及び事業税			70,000
経理区分振替額	39,961	△ 39,961	
当期正味財産増減額			30,037,212
前期繰越正味財産額			159,180,156
次期繰越正味財産額			189,217,368

貸借対照表

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター
全事業所

[税込] (単位: 円)
2026年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	1,426,196
現 金	248,665	預 り 金	258,141
PAYPAL円	309,442	未払法人税等	70,000
ゆうちょ・総合口座	16,024,606	流動負債 計	1,754,337
ゆうちょ・ XXXXXXXXXX	63,494,789	負債合計	1,754,337
ゆうちょ・ XXXXXXXXXX	1,046,259	正 味 財 産 の 部	
ゆうちょ・ XXXXXXXXXX	1,333,026	【正味財産】	
三菱東京UFJ銀行	98,978,188	前期繰越正味財産額	159,180,156
小口 現金	32,126	当期正味財産増減額	30,037,212
現金・預金 計	181,467,101	正味財産 計	189,217,368
(棚卸資産)		正味財産合計	189,217,368
貯 蔵 品	184,828		
棚卸資産 計	184,828		
流動資産合計	181,651,929		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建 物	1,105,072		
車両運搬具	540,000		
什器 備品	67,565		
土 地	7,421,139		
有形固定資産 計	9,133,776		
(投資その他の資産)			
敷 金	186,000		
投資その他の資産 計	186,000		
固定資産合計	9,319,776		
資産合計	190,971,705	負債及び正味財産合計	190,971,705

財 産 目 録

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター
全事業所

[税込] (単位 : 円)
2026年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	248,665
PAYPAL円	309,442
ゆうちょ・総合口座	16,024,606
ゆうちょ・ XXXXXXXXXX	63,494,789
ゆうちょ・ XXXXXXXXXX	1,046,259
ゆうちょ・ XXXXXXXXXX	1,333,026
三菱東京UFJ銀行	98,978,188
小口 現金	32,126
現金・預金 計	181,467,101

(棚卸資産)

貯 蔵 品	184,828
棚卸資産 計	184,828

流動資産合計

181,651,929

【固定資産】

(有形固定資産)

土 地	8,526,211
車両運搬具	540,000
什器 備品	67,565
有形固定資産 計	9,133,776

(投資その他の資産)

敷 金	186,000
投資その他の資産 計	186,000

固定資産合計

9,319,776

資産の部 合計

190,971,705

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	1,426,196
預 り 金	258,141
雇用保険料	(242,193)
住民税	(△ 48,700)
所得税	(64,648)
未払法人税等	70,000

流動負債 計

1,754,337

負債の部 合計

1,754,337

正味財産

189,213,368

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター

2026年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入れ原価法

(2). 固定資産の減価償却の方法
定率法を採用しています。なお、平成10年4月1日以後取得した建物(附属設備を除く。)及び平成28年4月1日以後取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しています。

(3). 引当金の計上基準
引当金は計上していません。

(4). 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当ありません。

(5). ボランティアによる役務の提供
財務諸表に計上していません。

(6). 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込み方式によっています。

【会計方針の変更】

ありません。

【事業費の内訳】

事業費の区分は別紙の通りです。
部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

【施設の提供等の物的サービスの受入の内訳】

該当ありません。

[税込] (単位: 円)

内容	金額	算定方法

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

[税込] (単位: 円)

内容	金額	算定方法

【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込] (単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
豚の保護施設のため	△ 4,301,985	2,419,700	6,861,315	△ 8,743,600	
合計					

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	価償却累計額	期末帳簿価額
建物※	1,105,072	0	0	1,105,072	0	1,105,072
車両運搬具	540,000	0	0	540,000	0	540,000
什器 備品	140,760	0	0	140,760	73,195	67,565
合計	1,785,832	0	0	1,785,832	73,195	1,712,637

※建物については令和6年4月5日に取得した土地付き建物に係るものである。

過年度に於いて土地の残高に含まれていたが、当期から適正な会計基準に基づいて正しい勘定科目への振替を行った。なお取得価額は固定資産税評価額に基づく按分による、合理的な計算方法で算出している。

【借入金の増減内訳】

[税込] (単位：円)				
科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位：円)			
科目	諸表に計上された金	役員との取引	支配法人等との取引
(活動計算書)			
活動計算書計			

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

- ・ 事業費と管理費の按分方法

共通経費を事業費と管理費に按分

事業実態に合わせ、事業費（1:0% 2:87% 3:8% 4:0% その他事業：1%） 管理費：3%とする

2025年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

☒以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）

☒各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名	（フリガナ） 氏名		前事業年度内 の 就任期間	報酬を受けた期 間 (該当者のみに記入)
1	理事	ヨシダ チヒロ 吉田 千尋		2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日
2	理事	コイケ ミホコ 小池 美穂子		2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	年 月 日 ～ 年 月
3	理事	ワタナベ ユカ 渡邊 由香		2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	年 月 日 ～ 年 月
4	理事	ヤスノマイコ 安野 舞子		2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	年 月 日 ～ 年 月
5	理事	イマイズミ ク ニエ 今泉 邦江		2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	年 月 日 ～ 年 月
6	理事	ウチダレナ 内田玲奈		2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	年 月 日 ～ 年 月
7	監事	スエマツ ナルミ 末松成美		2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	年 月 日 ～ 年 月
8	監事	カトウ ダイ 加藤大		2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	年 月 日 ～ 年 月
					

社員のうち10人以上の者の名簿

2026年 3月31日 現

	氏名	
1	吉田 千尋	
2	小池 美穂子	
3	安野 舞子	
4	鈴木 萌	
5	今泉 邦江	
6	黒岩三由里	
7	中島 まり子	
8	木村 牧子	
9	末松 成美	
10	渡邊 由香	